

東京都シニア春季公認記録会追加要項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2022年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、すべてタイムレース決勝とし、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 世界水泳連盟の公認マーク付き水着を着用すること。招集所で承認マークを確認する。
※公認マーク剥がれが生じた場合は「世界水泳連盟公認マーク剥離による確認票」を招集時に持参すること。
- (4) 競技を棄権する場合の棄権届の提出は不要とする。
※招集所での点呼で出席を確認できない選手は棄権として取り扱う。
- (5) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自行い、確実に固定されていることを確かめること。バックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。また、バックプレート、バックストロークレッジを調節する前後は手指消毒を行うこと。
- (6) 800m・1500m自由形における周回通知は周回板を使用し、コールは行わない。
- (7) ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (8) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。

2 招集について

- (1) 招集は競技開始時刻の20分前から行う。
- (2) 招集前に自身が出場する組とレーンを確認すること。
- (3) 招集所に貴重品を持ち込まないこと。
- (4) 招集所の位置および順路は、別紙「会場図」を参照すること。

3 表彰について

- (1) 本大会において種目別順位表彰は行わない。
- (2) 世界新記録、日本新記録、東京都新記録（いずれもタイ記録を含む）を樹立した場合は、新記録証の授与式を行う。

4 ADカードについて

- (1) ADカードは各団体にてホームページよりダウンロードして承認印を押印の上、出場選手および引率者に配布すること。（A4サイズでプリントして4分割する。プリントはモノクロでも可）
- (2) 選手ADは大会期間中選手1名につき1枚とし、必ず記名すること。
- (3) 引率ADは1団体3枚の基本ADに加え、出場選手5名につき1枚追加できる。ただし、基本ADと合わせて合計10枚を上限とする。
- (4) 引率ADは団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などの使用は禁止する。
- (5) ADカードは記名されている選手または引率者専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時ADカードを携行すること。
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。（折らずに収納できるサイズを使用すること）
- (8) 大会日の体温と体調を必ず記入すること。（2日目のみの出場であっても1日目の記入必須）
- (9) 出場最終日の退場時にADカードを退場受付に提出すること。

5 登録団体用健康確認票（兼誓約書）について

- (1) 登録団体用健康確認票兼誓約書（様式 T-04）は、各団体にてホームページよりダウンロードして持参すること。（※選手およびチームスタッフ個別の健康管理表は不要）
- (2) 団体責任者は所属選手全員の健康状態を確認し、登録団体用健康確認票兼誓約書を競技開始時刻までに入場受付に提出すること。（1 団体 1 枚/毎日）
- (3) 登録団体用健康確認票兼誓約書の提出が確認できない団体の出場は認めない。

6 入退場について

- (1) 大会1日目・2日目ともに8時00分に開場し引率者、選手の順で入場する。
（注意）必要以上に早く来場しないこと。
- (2) 入退場は、歩道橋直結白ゲートとする。（別紙「会場図」を参照）
- (3) 入場時に検温を実施する。37.5℃以上を検知した場合は、救護担当の指示に従うこと。
- (4) 出場最終日の退場時にADカードを退場受付に提出すること。
- (5) 天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。

7 控え場所について

- (1) 控え場所は観覧スタンドのみとする。指定区域外への立入りを禁止する。
- (2) 荷物・カード・紐等での場所取り行為を禁止する。一定時間以上放置された荷物類は、忘れ物として撤去する。
- (3) スタンド1階席最前列は危険防止のため使用不可とする。
- (4) テント類はいかなる場所にも設置できない。
- (5) トレーナーズベッドの使用は事前申請した団体のみ許可する。

8 更衣室について

- (1) メインプール更衣室を利用すること。
- (2) 更衣室では更衣のみ行い、荷物を放置しないこと。ロッカーの利用はできない。放置された荷物は撤去する。
- (3) 更衣室内の扇風機（サーキュレーター）は、換気のために調整済みであるため、向きを変えたり移動しないこと。

9 特別指定選手について

大会の安全な運営を目的に特別指定選手を設定する。（日本代表経験選手等）

特別指定選手の入場方法、待機場所は別途個別に案内する。案内を希望する場合は、所属団体を通じて大会実行委員会に申告すること。申告がない選手への案内は行わない。

申告メールアドレス：oc@tokyo-swim.org

10 プールの使用について

混雑状況によって変更する場合があるので、当日は係員の指示に従うこと。

- (1) メインプールA面（ダイビングプール側）
 - ① 水深2m、水温28.0度に設定する。
 - ② ウォーミングアップは、競技開始15分前までとする。
 - ③ ウォーミングアップ時の1レーンおよび8レーンはダッシュレーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。また、利用人数に応じてダッシュレーンを増やす場合がある。
 - ④ 公式スタート練習は行わない。
 - ⑤ 4レーンはペースレーンとする。（クロールのスイムのみ）
 - ⑥ パドル・コード類の使用は禁止する。
 - ⑦ 電子ホイッスルの使用を許可する。

- (2) メインプールB面（電光表示板側）
- ① 水深2m、水温28.0度に設定する。
 - ② 入場時刻から競技終了30分後まで常時使用可能とする。
 - ③ 1レーンはダッシュレーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
 - ④ 8レーンはペースレーンとする。（クロールのスイムのみ）
 - ⑤ 電子ホイッスルの使用を許可する。ただし、競技中は使用を禁止する。
 - ⑥ 掛け声など競技の妨げにならないよう配慮すること。特にスタート時は声や音を発しないこと。
- (3) サブプールは利用できない。立入り禁止とする。

11 ストレッチスペースについて

アリーナ内ウッドデッキをストレッチスペースとする。利用の際は以下の注意事項を厳守すること。

- ① できるだけマスクを着用すること。混雑している場合は利用者数を制限する。
- ② スペースの専有（場所取り）はできない。利用は1回30分以内を目安とし長時間滞在しないこと。
- ③ ストレッチスペースでの食事は禁止する。飲料の摂取は認めるが、ゴミは持ち帰ること。
- ④ 利用の際はできるだけストレッチマット等の敷物を使用すること。
- ⑤ ウッドデッキの隙間にADカード等を落とさないように十分注意すること。

12 監督者会議について

監督者会議は行わない。

13 感染症拡大予防について

- (1) 感染症予防ガイドラインに従い大会運営する。
- (2) ガイドラインに従わない場合、係の指示に従わない場合は退場処分とする。
- (3) 大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染症予防に努めること。

14 YouTubeの配信について

全競技YouTubeで映像配信する。

「かわずちゃんねる」⇒ <https://www.youtube.com/channel/UCKXDgeqAtqJwupKbIJSStFKQ>



15 競技結果（速報）について

- (1) 会場内で競技結果の貼りだしは行わない。
- (2) 競技結果はプログラム番号ごとに速やかに東京都水泳協会ホームページに公開する。

16 大会参加にあたっての遵守事項について

- (1) 水泳競技会における感染拡大予防ガイドラインおよび大会主催者の指導や指示を遵守し、新型コロナウイルス感染症などの感染防止に努めること。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の疑いや発熱などの症状が認められる場合には参加を辞退すること。また、主催者から大会への参加辞退要請があった場合はそれに従うこと。
- (3) 大会期間中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または保護者の責任において対処すること。
- (4) 感染症拡散防止の目的で保健所ならびに関係機関に健康管理表に記載の個人情報提供される場合がある。
- (5) 悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場辞退となった場合でも申込金の返金はしない。
- (6) (公財)日本水泳連盟および(公財)東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。

17 その他

- (1) 熱中症に注意すること。
 - ① こまめな水分補給を心掛けること。
 - ② ペットボトル、水筒などは専用のものを使用し、他者と共有しないこと。

- (2) 選手の保護者を含め、応援・観覧のための入場はできない。
- (3) プールサイドは室内履きに関り使用を認める。
- (4) レースやウォーミングアップ時に脱衣した衣服は袋やナップサック等に入れて管理すること。
- (5) 忘れ物は、退場受付に保管する。最終日競技終了後、破棄する場合がある。
- (6) 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- (7) 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- (8) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (9) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあるので避けること。
- (11) 来場の際は公共交通機関を利用すること。また、辰巳水泳場前や近隣への路上駐車または送迎の停車を禁止する。悪質な場合は、警察と連携し対応する。

18 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 03-5422-6147 (平日 10 時～17 時)
大会当日の連絡先 03-5534-6388 (大会当日のみ)